

# 家持のまなざし——富山の風土を見つめる

家持が富山の風土をどのように見つめ、何に感動したのか——。

天平18年(746)、国守として越中に赴いた大伴家持。

都から遠くはなれた地で、家持のまなざしは厳しくも雄大な自然にとらえられ、歌人として大きな成長をとげていきました。

その家持が編纂に深く関わり、令和を機に注目を集める『万葉集』には、

往時の富山の風土や今に通じる人々の息遣いが描かれています。

万葉集研究の第一人者である高志の国文学館の中西館長が、家持のまなざしを通して皆様にお伝えします。

## 中西 進 氏 プロフィール

1929年東京都生まれ。日本文学研究の第一人者。2013年文化勲章受章。『万葉集』など古代文学の比較研究を主に、日本文化の研究・評論活動で知られる。大阪女子大学学長、京都市立芸術大学学長などをつとめ、現在、高志の国文学館館長、一般社団法人日本学基金理事長。主な著書に『中西進日本文化を読む』(全6巻、小沢書店)『中西進万葉論集』(全8巻、講談社)『中西進著作集』(全36巻、四季社)『こころの日本文化史』(岩波書店)『令しく平和に生きるために』(潮新書)『万葉集 愛の100首』(宝島社)など多数。

## 《お申し込み方法》

WEB申込フォーム、FAX、ハガキ、電話にて下記の内容①～⑥を記載のうえお申し込みください。

1回のお申し込みにつき、お二人まで可能です。※応募多数の場合は抽選となります。当選発表は整理券の発送をもってかえさせていただきます。

- ①中西進講演会申込 ②氏名(ふりがな) ③郵便番号・住所  
④電話番号 ⑤参加人数(2名まで) ⑥同伴者がいる場合は同伴者氏名

WEB申込フォーム

<https://pcojapan.jp/event/>

TEL 076-428-9166 (平日9:00～17:00)

ハガキ 〒939-8063 富山県富山市小杉120  
中西進講演会運営事務局(株式会社PCO内)宛

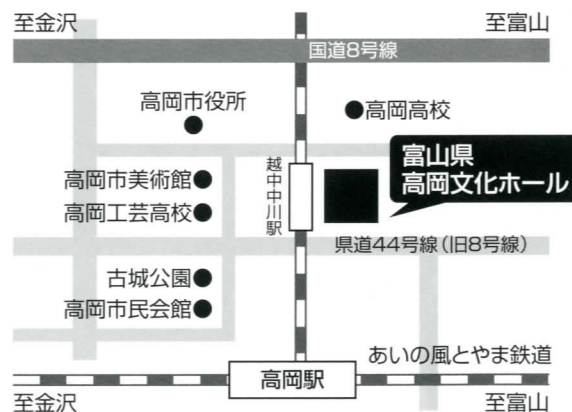
締切: 令和2年8月17日(月)正午【必着】

問合せ: 中西進講演会運営事務局(株式会社PCO内) TEL.076-428-9166

主催: 富山県

※本講演会はソーシャルディスタンスの確保、出入り口でのアルコール消毒の設置など、新型コロナウイルス感染症対策を行っております。

※参加される方はマスクの着用をお願いしております。当日、体調の優れない方は入場を制限させていただく場合がございます。ご了承ください。



駐車場は大ホールや多目的小ホールのイベント等により満車になる場合がございます。

## 《中西進講演会》FAXお申し込み用紙

FAX 076-428-9156

ふりがな 氏名	住所	〒	—
電話番号	参加人数	名	同伴者 氏名

※FAXでお申し込みされる場合は必要事項をご記載のうえ、本紙をFAXしてください。なお、お申込み時にいただいた個人情報は、本講演会のみを使用いたします。